

No. 2358 京都トレイル⑤(西山)

大原戸寺～江文峠～薬王坂～鞍馬～夜泣峠～向山

2011年3月31日(日)

同行者 : 宮本 山城(L、記)

例年になく各地の桜花が早くも満開の便りだった。春暖は気まぐれでもある。淀屋橋で宮本さんに出会う。「久しぶりやね」と話が弾み、終点と降りた駅が何か違う気配、春雨のなかバス停に向かったが行き先は岩倉までしか明示されていない。思いたく無いけど駅に引返して見れば...なんと三条駅であった。急ぎ電車で飛び乗り出町柳駅へ。鴨川沿いの桜は満開で華やかだ。

出町柳バス停 8:48 発に乗り大原戸寺 9:07 着。雨は上がっていた。大原の里では桜はまだ蕾、高野川が南北に伸びていて東に比叡の山並み、北は金比羅山、翠黛山、天が岳と連なる田園風景。2坪ほどのビニールハウスの中にホトケノザが植わっていた(ツマ用に出荷されるのかな?) 江文峠へは民家横の路地を抜け、奥の柵を開けて入り込んで細い谷筋を辿っていく。江文峠は車道にあった。バス停はあるが不通と書いてあった。ここには金比羅山登山口があり車道を挟んで瓢箪崩山の登山口もある。次の静原町は私的に期待の集落であった。びっしり花を付けた梅や桃、モクレンが伸び伸びと随所に咲き誇る。また静原川より山沿いの集落には紅がらと白い漆喰が美しい重厚な造りの家屋が、何軒もあり品格を感じさせる。また借景となる山々にはタムシバの花が白く所々に点在して早春の風景があった。静原神社で一休みした。舞台の手前に大杉があり600年と地元の方に聞いた。薬王坂へは石坂の登りで始まり結構キツイ。薬王坂峠からは鞍馬に下って行く。満開の一本桜が咲く鞍馬駅。レトロな待合室で昼休憩をさせてもらう。午後から鞍馬川沿いに歩きバス停二ノ瀬の手前の道標⑥を見過ごさないよう注意する。踏切を渡り守谷・富士神社前から夜泣峠に向けて石段を上る。ここからの山道はツバキの古木が多く楽しめる。夜泣峠からは、さらに向山頂上を目指し登って行った。

下山は交通アクセスの都合からクリーンセンター経由で市原駅にした。ホームの前には満開になった八重の紅梅がずらりと見事に並び咲き圧巻でありました。出町柳 16:04 着。

出町柳(バス)―戸寺―江文峠― 静原神社 ―薬王坂分岐―薬王坂峠― 鞍馬駅(昼食)

8:48 9:09 10:16 10:56-11:05 11:17 11:50 12:10-12:40

二ノ瀬登山口―夜泣峠―向山頂上― (休憩) ―クリーンセンター―市原駅

13:15 13:45 14:00 14:20-30 15:00 15:35